

I 普通会計決算見込

1 概要

- 令和2年度の県内23市町決算は、特別定額給付金に係る国支出金及び事業費の増などにより、歳入歳出ともに増加した。
- 歳入歳出差引から翌年度に繰越すべき財源を除いた実質収支は、前年度に比べ3億7千4百万円（2.3%）増加し、全団体黒字であった。

（単位：百万円，%）

区 分	令和2年度 ①	令和元年度 ②	増減額 ③ (①-②)	増減率 ③/②*100
歳入合計 A	1,782,017	1,455,712	326,305	22.4
歳出合計 B	1,746,274	1,425,971	320,303	22.5
歳入歳出差引 C (A-B)	35,743	29,741	6,002	20.2
翌年度に繰越すべき財源 D	19,021	13,393	5,628	42.0
実質収支 C-D	16,722	16,348	374	2.3

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

2 歳入

- 歳入合計は、前年度と比べ3,263億5百万円（22.4%）増加した。

【内訳】

- ・ 地方税は、法人税割の減により、前年度と比べ14億1千1百万円（▲0.3%）減少した。
- ・ 県税交付金等は、地方消費税交付金や法人事業税交付金等の増により、前年度と比べ140億9千9百万円（19.3%）増加した。
- ・ 地方交付税は、普通交付税及び特別交付税の減により、前年度と比べ24億8百万円（▲1.2%）減少した。
- ・ 国県支出金は、特別定額給付金や新型コロナウイルス感染症対策に係る交付金等の増により、前年度と比べ3,365億5千1百万円（98.6%）増加した。
- ・ 地方債は、合併特例事業債の減等により、前年度と比べ54億5千4百万円（▲3.0%）減少した。
- ・ その他歳入は、繰入金の減及び令和元年度からの繰越事業に伴う繰越金の減等により、前年度と比べ150億7千2百万円（▲8.9%）減少した。

（単位：百万円，%）

区 分	令和2年度 ①		令和元年度 ②		増減額 ③ (①-②)	増減率 ③/②*100
	金額	構成比	金額	構成比		
地 方 税	481,011	27.0	482,422	33.1	▲ 1,411	▲ 0.3
県 税 交 付 金 等	87,037	4.9	72,938	5.0	14,099	19.3
地 方 交 付 税	205,646	11.5	208,054	14.3	▲ 2,408	▲ 1.2
国 県 支 出 金	677,785	38.0	341,234	23.4	336,551	98.6
地 方 債	175,926	9.9	181,380	12.5	▲ 5,454	▲ 3.0
うち合併特例事業債	13,682	0.8	36,639	2.5	▲ 22,957	▲ 62.7
うち臨時財政対策債	48,898	2.7	49,367	3.4	▲ 469	▲ 1.0
そ の 他 歳 入	154,612	8.7	169,684	11.7	▲ 15,072	▲ 8.9
うち繰入金	17,822	1.0	20,016	1.4	▲ 2,194	▲ 11.0
うち繰越金	28,027	1.6	32,659	2.2	▲ 4,632	▲ 14.2
歳 入 合 計	1,782,017	100.0	1,455,712	100.0	326,305	22.4

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

3 歳 出

○ 歳出合計は、前年度と比べ3,203億3百万円（22.5%）増加した。

【内訳】

- ・ 人件費は、会計年度任用職員制度の導入に伴うその他経費からの振替等により、前年度と比べ144億8千2百万円（5.8%）増加した。
- ・ 扶助費は、児童福祉費や社会福祉費の増等により、前年度と比べ117億5千1百万円（3.7%）増加した。
- ・ 公債費は、地方道路等整備事業債の減等により、前年度と比べ36億7千6百万円（▲2.3%）減少した。
- ・ 投資的経費のうち普通建設事業費は、学校施設整備事業の減等により、前年度と比べ68億4千8百万円（▲3.9%）減少し、災害復旧事業費は、平成30年7月豪雨災害に係る事業の減等により、前年度と比べ76億7千2百万円（▲19.1%）減少した。
- ・ その他経費は、特別定額給付金に係る事業費の増等により、前年度と比べ3,122億6千8百万円（66.1%）増加した。

（単位：百万円，%）

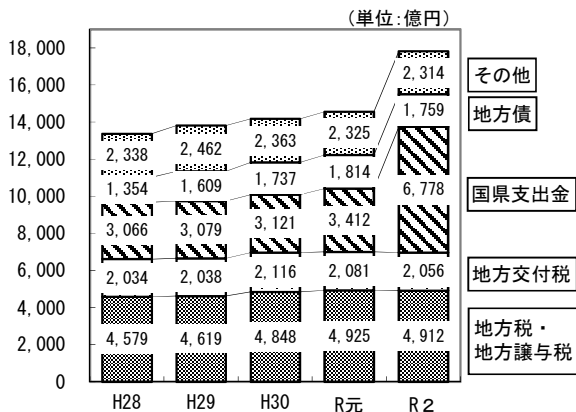
区 分	令和2年度		令和元年度		増減額 ③(①-②)	増減率 ③/②*100
	①	構成比	②	構成比		
義務的経費	758,733	43.4	736,177	51.6	22,556	3.1
人件費	266,288	15.2	251,806	17.7	14,482	5.8
扶助費	333,215	19.1	321,464	22.5	11,751	3.7
公債費	159,230	9.1	162,906	11.4	▲3,676	▲2.3
投資的経費	203,075	11.6	217,596	15.3	▲14,521	▲6.7
うち普通建設事業費	170,658	9.8	177,506	12.4	▲6,848	▲3.9
うち補助事業費	72,945	4.2	75,168	5.3	▲2,223	▲3.0
うち単独事業費	97,713	5.6	102,338	7.2	▲4,625	▲4.5
うち災害復旧事業費	32,417	1.9	40,089	2.8	▲7,672	▲19.1
その他経費	784,466	44.9	472,198	33.1	312,268	66.1
歳出合計	1,746,274	100.0	1,425,971	100.0	320,303	22.5

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

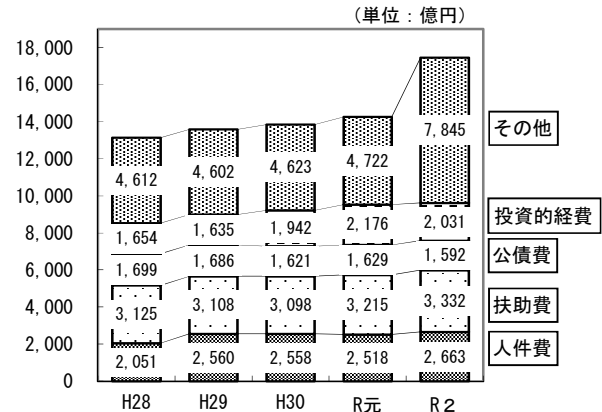
4 財政指標の推移

(1) 歳入・歳出の推移

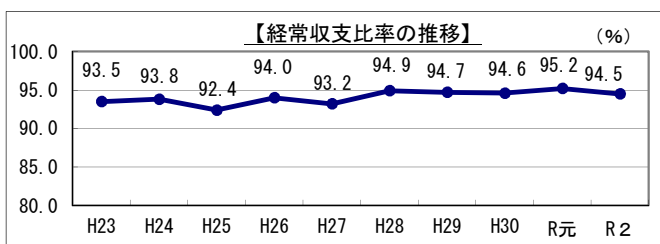
【歳入の推移】



【歳出の推移】



(2) 経常収支比率の推移



● 経常収支比率 (%)

$$= \frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源等}} \times 100$$

※比率が高いほど財政の硬直性が進んでいる。

II 地方公営企業（法適用）決算見込

1 概要

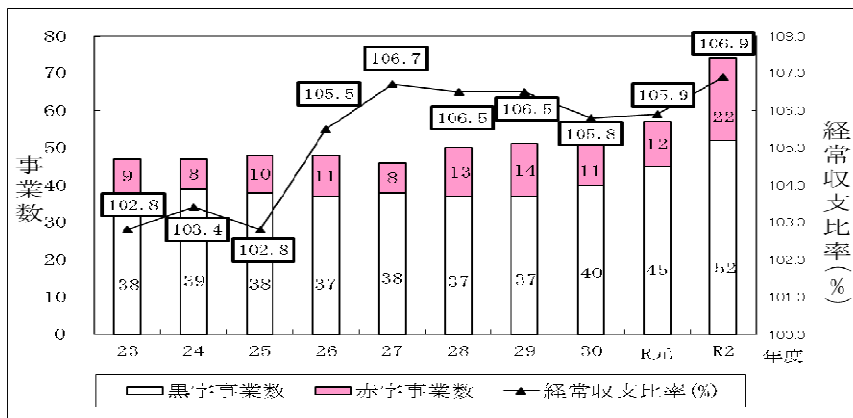
- 経常収益は2,040億32百万円で、前年度と比べ98億1百万円（5.0%）の増加、経常費用は1,909億12百万円で、前年度と比べ75億55百万円（4.1%）の増加となった。
- 経常収益から経常費用を引いた経常損益は、前年度と比べ、22億46百万円（20.7%）増加し、全体では131億20百万円の黒字となっている。
- 経常損失を生じた赤字事業数は22事業で、前年度から10事業増加した。
- 経常収支比率については、106.9%で前年度比1.0%ポイント増となった。

（単位：百万円，%）

区 分		令和2年度 ①	令和元年度 ②	増 減 額 ③ (①-②)	増 減 率 ③/②*100
全 事 業 数		74	57	17	29.8
経 常 収 益	A	204,032	194,231	9,801	5.0
うち営業収益	B	156,263	155,174	1,089	0.7
経 常 費 用	C	190,912	183,357	7,555	4.1
経 常 損 益 (A-C)	D	13,120	10,874	2,246	20.7
Dの経常利益	E	13,734	11,154	2,580	23.1
内訳経常損失	F	614	280	334	119.3
経常損失を生じた事業数		22	12	10	83.3
経常収支比率(A/C)		106.9	105.9	1.0	

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

【赤字・黒字別事業数及び経常収支比率の推移】



○ 経常収支比率(%)

$$= \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$
 ※黒字の場合は100%を上回る。

2 事業別の決算見込

- 赤字事業は、水道事業が2事業、病院事業が3事業、観光事業が1事業、下水道事業が15事業、その他事業が1事業となっている。
- 累積欠損金を有する事業は24事業で、金額は54億81百万円となった。また、事業別では、病院事業が34億55百万円で、全体の約6割を占めている。
- 不良債務を有する事業は3事業となっている。

（単位：百万円，%）

事業名	事業数		経常収益 ①	経常費用 ②	経常損益 ①-②	経常収支比率 ①/②*100	累積欠損金		不良債務	
	うち赤字						事業数	金額	事業数	金額
水道	19	2	60,576	55,256	5,319	109.6	1	119	0	0
工業用水道	3	0	4,039	3,121	918	129.4	1	81	0	0
病院	10	3	55,417	53,396	2,020	103.8	6	3,455	0	0
観光	1	1	2	38	▲35	6.5	1	814	0	0
下水道	39	15	83,902	79,008	4,895	106.2	14	1,012	3	53
その他	2	1	95	92	3	103.2	1	1	0	0
合計	74	22	204,032	190,912	13,120	106.9	24	5,481	3	53

※累積欠損金 = 当年度未処理欠損金（各事業年度の損失(赤字)額の累積）

※不良債務 = 流動負債-流動資産(翌年度繰越財源を除く。)

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

Ⅲ 健全化判断比率等

○ 県内各市町の令和2年度決算における健全化判断比率は、いずれも財政健全化計画の策定が必要となる早期健全化基準を下回っている。

- 実質赤字比率**（早期健全化基準：11.25～15%以上，財政再生基準：20%以上）
 全団体黒字であり，実質赤字は発生していない。
- 連結実質赤字比率**（早期健全化基準：16.25～20%以上，財政再生基準：30%以上）
 全団体黒字であり，実質赤字は発生していない。
- 実質公債費比率**（早期健全化基準：25%以上，財政再生基準：35%以上）
 県内平均：8.4%（R元：8.8%）
 増減理由：既発債の償還終了等により，臨時財政対策債等を除いた実質的な地方債の元利償還金が減少したため，0.4ポイント改善した。
- 将来負担比率**（早期健全化基準：市町350%以上 都道府県及び政令市400%以上）
 県内平均：87.8%（R元：92.9%）
 増減理由：公営企業への繰入見込額が減少したこと等により，5.1ポイント改善した。
- 資金不足比率**（経営健全化基準：20%）
 令和2年度の決算において，全団体すべての会計で資金不足額は発生していない。

（単位：%）

区 分	実質公債費比率			将来負担比率		
	令和2年度 A	令和元年度 B	増 減 A-B	令和2年度 A	令和元年度 B	増 減 A-B
広島市	11.7	12.4	▲ 0.7	174.7	183.7	▲ 9.0
呉市	8.1	9.3	▲ 1.2	66.7	74.4	▲ 7.7
竹原市	8.4	8.8	▲ 0.4	94.0	84.8	▲ 9.2
三原市	6.7	6.3	▲ 0.4	40.6	41.9	▲ 1.3
尾道市	6.4	6.4	0.0	30.2	34.5	▲ 4.3
福山市	1.6	1.4	▲ 0.2	-	-	0.0
府中市	9.6	9.3	▲ 0.3	73.1	74.1	▲ 1.0
三次市	6.4	7.0	▲ 0.6	44.0	52.8	▲ 8.8
庄原市	11.9	13.2	▲ 1.3	101.1	111.9	▲ 10.8
大竹市	14.9	16.1	▲ 1.2	156.4	157.3	▲ 0.9
東広島市	1.0	0.5	▲ 0.5	-	-	0.0
廿日市市	4.6	4.7	▲ 0.1	80.7	74.7	▲ 6.0
安芸高田市	12.9	13.8	▲ 0.9	94.7	94.1	▲ 0.6
江田島市	6.8	6.2	▲ 0.6	25.9	23.4	▲ 2.5
府中町	5.7	5.6	▲ 0.1	104.1	109.6	▲ 5.5
海田町	6.4	7.6	▲ 1.2	-	7.1	▲ 7.1
熊野町	6.3	6.9	▲ 0.6	14.3	7.8	▲ 6.5
坂町	3.3	3.6	▲ 0.3	-	-	0.0
安芸太田町	12.4	12.6	▲ 0.2	36.6	62.4	▲ 25.8
北広島町	14.4	14.6	▲ 0.2	69.8	74.0	▲ 4.2
大崎上島町	12.4	12.7	▲ 0.3	-	-	0.0
世羅町	10.7	10.7	0.0	13.0	16.5	▲ 3.5
神石高原町	5.7	6.3	▲ 0.6	-	-	0.0
県内平均	8.4	8.8	▲ 0.4	87.8	92.9	▲ 5.1
〃（政令市除き）	5.7	5.9	▲ 0.2	20.0	21.8	▲ 1.8
県	13.1	13.8	▲ 0.7	215.7	223.7	▲ 8.0

※県内平均は，加重平均である。

令和2年度 市町別普通会計決算の状況

(単位：百万円, %)

区 分	歳入総額						歳出総額						実質収支
	対前年度増減率		対前年度増減率		対前年度増減率		対前年度増減率		対前年度増減率		対前年度増減率		
	歳入総額	増減率	地方税等	増減率	地方交付税	増減率	歳出総額	増減率	義務的経費	増減率	投資的経費	増減率	
広島市	783,966	24.3	240,072	▲ 1.3	46,575	0.9	778,024	24.2	378,148	1.6	73,548	10.7	2,655
呉市	127,859	17.2	30,953	▲ 2.6	19,890	▲ 3.3	124,710	16.2	54,446	0.6	12,957	▲ 34.9	2,486
竹原市	16,273	14.6	3,738	▲ 2.9	2,944	8.7	15,551	15.2	5,606	4.6	2,046	▲ 25.3	107
三原市	66,728	23.1	13,836	▲ 4.5	11,304	▲ 2.7	63,939	23.4	24,259	3.7	10,971	▲ 0.6	112
尾道市	78,273	13.3	18,388	▲ 0.9	14,899	0.9	77,343	13.3	31,073	4.7	8,347	▲ 45.5	288
福山市	230,354	22.7	76,058	▲ 1.1	15,523	▲ 4.2	224,255	23.2	96,354	8.1	21,461	▲ 35.1	3,373
府中市	27,604	25.9	5,221	▲ 3.2	6,299	1.9	26,799	30.5	9,819	5.0	4,094	28.5	410
三次市	46,136	16.9	7,113	▲ 2.7	14,840	2.2	44,901	17.1	15,296	9.5	7,919	24.5	701
庄原市	36,761	17.3	4,316	0.9	13,652	2.1	35,433	15.6	11,933	2.3	7,745	6.2	493
大竹市	20,981	44.9	5,278	▲ 2.9	1,674	10.3	20,054	44.4	6,512	2.9	4,927	128.0	34
東広島市	111,434	34.7	38,052	15.4	5,518	▲ 44.3	107,339	38.6	41,215	4.6	17,184	44.9	2,462
廿日市市	68,627	22.2	16,313	▲ 0.8	9,691	4.9	67,649	21.8	26,142	6.1	11,565	8.4	138
安芸高田市	23,810	4.6	3,797	1.6	8,322	▲ 0.1	22,994	3.7	8,927	▲ 5.9	2,192	▲ 46.6	533
江田島市	18,511	4.9	2,550	▲ 1.0	6,303	1.0	17,273	1.1	6,709	0.6	2,638	▲ 43.0	228
府中町	22,746	34.0	7,430	▲ 0.5	1,190	19.6	22,378	32.2	9,949	4.0	1,385	▲ 33.4	309
海田町	15,436	29.8	4,374	0.2	1,041	▲ 4.9	14,706	29.5	5,380	7.9	1,353	▲ 48.8	556
熊野町	13,290	36.8	2,482	0.2	2,328	5.1	12,953	37.4	3,978	7.2	2,374	35.8	93
坂町	9,551	▲ 8.9	2,187	▲ 6.2	940	▲ 1.4	8,786	▲ 11.7	2,879	14.0	1,518	▲ 54.5	267
安芸太田町	9,190	18.5	944	3.7	4,452	13.6	8,739	16.7	3,013	5.3	1,222	63.7	382
北広島町	18,291	17.5	3,195	1.6	5,978	3.3	18,068	17.3	6,907	▲ 0.7	1,909	▲ 6.5	84
大崎上島町	8,339	19.9	1,554	▲ 1.0	2,663	23.7	8,108	19.7	2,615	9.9	1,085	▲ 4.0	124
世羅町	13,601	6.4	2,175	▲ 1.1	4,592	▲ 1.7	13,110	6.3	4,426	▲ 2.4	1,534	▲ 39.5	269
神石高原町	14,255	19.7	1,223	1.6	5,028	2.1	13,166	18.2	3,147	2.0	3,098	21.1	618
計	1,782,017	22.4	491,247	▲ 0.3	205,646	▲ 1.2	1,746,274	22.5	758,733	3.1	203,075	▲ 6.7	16,722
計 (政令市除き)	998,051	21.0	251,176	0.7	159,071	▲ 1.7	968,250	21.1	380,585	4.6	129,527	▲ 14.3	14,067

(注1) 団体ごとに百万円単位で四捨五入しているため、計において一致しない場合がある。

(注2) 実質収支…歳入歳出差引額－翌年度に繰り越すべき財源

(単位：百万円，%)

区 分	経常収支比率		地方債現在高		財調・減債基金現在高		財政力指数	
		対前年度 増減		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減
広島市	97.6	▲ 0.8	1,080,422	3.0	4,902	23.0	0.83	0.00
呉市	97.0	▲ 1.0	119,159	▲ 3.3	4,570	▲ 29.3	0.61	0.00
竹原市	96.0	▲ 4.6	13,558	0.4	781	47.4	0.60	▲ 0.01
三原市	95.2	2.7	68,237	2.2	6,769	▲ 3.9	0.55	▲ 0.01
尾道市	95.9	▲ 1.3	77,572	▲ 0.8	6,347	▲ 3.6	0.56	0.00
福山市	86.3	1.5	142,433	▲ 2.6	25,251	▲ 0.8	0.82	0.00
府中市	97.9	0.2	23,303	0.2	2,642	▲ 3.2	0.47	0.00
三次市	97.5	0.0	47,513	▲ 2.2	2,885	▲ 3.6	0.34	0.00
庄原市	96.5	▲ 1.3	38,631	0.1	3,658	▲ 1.9	0.26	0.00
大竹市	93.4	▲ 3.5	23,219	8.6	1,532	5.7	0.81	▲ 0.02
東広島市	88.3	▲ 2.9	74,639	0.3	17,430	13.1	0.84	0.01
廿日市市	94.0	0.2	70,323	3.5	5,174	▲ 0.3	0.63	▲ 0.01
安芸高田市	92.8	▲ 5.4	23,800	▲ 6.0	915	▲ 19.7	0.32	0.01
江田島市	95.1	▲ 3.2	18,317	▲ 2.0	5,001	▲ 10.1	0.31	0.00
府中町	97.3	▲ 1.3	24,841	▲ 1.1	1,311	0.4	0.87	▲ 0.04
海田町	85.6	▲ 1.0	9,578	2.7	2,266	8.2	0.80	0.01
熊野町	90.4	▲ 2.4	8,268	12.2	1,345	5.6	0.53	0.00
坂町	85.8	▲ 0.7	8,068	5.6	2,533	33.4	0.73	▲ 0.02
安芸太田町	93.5	▲ 9.9	11,322	▲ 0.4	2,714	9.4	0.20	0.00
北広島町	90.6	▲ 0.3	14,846	▲ 4.8	1,237	▲ 11.5	0.35	0.00
大崎上島町	88.7	▲ 7.1	10,179	2.4	2,571	2.1	0.41	0.03
世羅町	94.0	0.8	10,624	▲ 3.0	2,128	0.9	0.32	0.00
神石高原町	77.4	▲ 4.8	12,433	1.5	4,682	▲ 1.6	0.21	0.00
計	94.5	▲ 0.7	1,931,284	1.4	108,645	0.5	—	—
計 (政令市除き)	92.1	▲ 0.7	850,862	▲ 0.6	103,742	▲ 0.3	—	—

(注1) 団体ごとに百万円単位で四捨五入しているため、計において一致しない場合がある。

(注2) 経常収支比率…経常一般財源総額に対する経常経費充当一般財源の割合

(注3) 経常収支比率の計欄は、加重平均である。

令和2年度地方公営企業（法適用）の決算状況

（単位：百万円，％）

団体名	事業名	経常収益		経常費用 C	経常損益 (A-C) D	経常収支 比率 A / C	累積欠損金	不良債務
		A	B うち営業収益					
広島市	水道	22,783	20,146	22,198	585	102.6	0	0
	病院	2,500	1,850	2,499	1	100.0	557	0
	下水（公共）	41,385	31,771	40,196	1,189	103.0	0	0
	下水（特環）	493	240	494	▲0	99.8	0	0
	下水（農集）	865	107	865	▲0	100.0	0	0
	下水（特排）	88	11	88	▲0	100.0	0	0
	計	68,114	54,125	66,340	1,774	102.7	557	0
呉市	水道	5,801	5,405	5,310	491	109.2	0	0
	工水	640	575	597	43	107.2	0	0
	病院	643	462	688	▲45	93.5	363	0
	下水（公共）	6,448	4,685	5,837	611	110.5	0	0
	下水（特環）	734	210	740	▲6	99.2	6	0
	計	14,266	11,337	13,172	1,094	108.3	369	0
竹原市	水道	1,006	915	723	283	139.1	0	0
	下水（公共）	560	177	562	▲1	99.6	234	0
	下水（特環）	14	3	12	2	116.7	42	0
	計	1,580	1,095	1,297	283	121.8	276	0
三原市	水道	3,083	2,463	2,506	578	123.0	0	0
	下水（公共）	2,862	1,201	2,660	202	107.6	0	0
	下水（特環）	130	43	116	14	112.1	0	0
	下水（農集）	94	22	97	▲3	96.9	5	4
	下水（漁集）	56	9	67	▲10	83.6	13	0
	下水（特排）	60	25	101	▲41	59.4	45	39
	計	6,285	3,763	5,547	738	113.3	63	43
尾道市	水道	3,838	3,538	3,491	348	109.9	0	0
	病院	13,339	11,096	13,567	▲228	98.3	778	0
	下水（公共）	1,533	776	1,517	16	101.1	181	0
	下水（特環）	209	74	206	3	101.5	3	0
	計	18,919	15,484	18,781	138	100.7	962	0
福山市	水道	8,456	7,832	6,756	1,700	125.2	0	0
	工水	2,890	2,655	2,120	770	136.3	0	0
	病院	21,230	17,766	19,639	1,591	108.1	0	0
	下水（公共）	11,729	7,556	9,905	1,824	118.4	0	0
	計	44,305	35,809	38,420	5,885	115.3	0	0
府中市	水道	617	601	615	2	100.3	0	0
	病院	1,303	1,085	1,277	26	102.0	1,028	0
	下水（公共）	953	297	705	248	135.2	0	0
	下水（特環）	39	17	31	9	125.8	0	0
	計	2,912	2,000	2,628	284	110.8	1,028	0
三次市	水道	1,698	999	1,656	42	102.5	0	0
	病院	9,670	8,062	9,042	628	106.9	0	0
	下水（公共）	1,011	267	1,010	2	100.1	0	0
	下水（特環）	441	76	440	0	100.2	0	0
	下水（農集）	617	129	617	0	100.0	0	0
	下水（特排）	62	21	62	0	100.0	0	0
	計	13,499	9,554	12,827	672	105.2	0	0
庄原市	水道	1,091	625	1,004	88	108.7	0	0
	病院	1,419	949	1,334	85	106.4	547	0
	下水（公共）	748	252	682	66	109.7	0	0
	下水（特環）	176	44	174	2	101.1	0	0
	計	3,434	1,870	3,194	240	107.5	547	0
大竹市	水道	528	447	496	31	106.5	0	0
	工水	509	470	404	105	126.0	81	0
	下水（公共）	962	688	909	53	105.8	0	0
	計	1,999	1,605	1,809	190	110.5	81	0
東広島市	水道	4,817	4,190	4,191	627	114.9	0	0
	下水（公共）	4,310	3,405	3,948	362	109.2	0	0
	下水（特環）	179	30	192	▲13	93.2	81	0
	下水（農集）	226	47	230	▲4	98.3	70	0
	その他	38	17	38	▲0	100.0	1	0
	計	9,570	7,689	8,599	971	111.3	152	0
廿日市市	水道	2,873	2,115	2,705	168	106.2	0	0
	観光（宿泊）	2	0	38	▲35	5.3	814	0
	下水（公共）	3,077	1,530	2,971	107	103.6	0	0
	下水（特環）	218	44	277	▲59	78.7	60	0
	下水（農集）	41	5	64	▲24	64.1	24	11
	その他	57	22	54	3	105.6	0	0
	計	6,211	3,694	6,055	156	102.6	898	11
安芸高田市	水道	889	456	893	▲4	99.6	0	0
	下水（公共）	312	67	229	82	136.2	0	0
	下水（特環）	501	106	434	67	115.4	0	0
	計	1,702	629	1,556	146	109.4	0	0
江田島市	水道	796	718	625	171	127.4	0	0
	下水（公共）	447	116	393	53	113.7	0	0
	下水（特環）	694	116	547	147	126.9	0	0
	下水（農集）	156	28	160	▲3	97.5	0	0
	計	2,093	978	1,725	368	121.3	0	0
府中町	下水（公共）	1,301	929	1,278	23	101.8	0	0
海田町	水道	405	379	340	65	119.1	0	0
熊野町	水道	507	446	449	58	112.9	0	0
安芸太田町	病院	1,996	1,523	1,956	40	102.0	0	0
北広島町	水道	561	249	463	98	121.2	0	0
	病院	11	0	11	0	100.0	0	0
	計	4,781	3,526	4,497	284	106.3	0	0
大崎上島町	水道	470	263	447	23	105.1	0	0
	水道	353	196	389	▲36	91	119	0
	下水（公共）	146	21	165	▲18	88	204	0
	下水（特環）	24	3	28	▲4	86	46	0
	計	523	220	582	▲59	89.9	369	0
神石高原町	病院	329	20	329	0	100.0	0	0
世羅中央病院企業団	病院	2,977	2,579	3,055	▲78	97.4	181	0
	総計	204,032	156,263	190,912	13,120	107	5,481	53

注) 項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

【参考】健全化判断比率等の算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字}}{\text{標準財政規模}}$$

実質赤字 ～ 歳入から歳出及び翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支額が負となった額
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

連結実質赤字 ～ 団体に属する全会計の実質収支等を連結し合算した額が負となった額
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

(3ヵ年平均)

元利償還金 ～ 一般会計等の地方債に係る元利償還金
 準元利償還金 ～ 公営企業や一部事務組合等の地方債の元利償還に係る一般会計等の負担金等
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

将来負担額 ～ 一般会計等が将来負担すべき負債（地方債現在高、債務負担行為支出予定額、退職手当支給額等）
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業の規模}}$$

資金不足額 ～ 法適用事業においては、流動負債及び建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高から流動資産を差し引いた額。
 法非適用事業においては、歳出、翌年度に繰越すべき財源及び建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高から歳入を差し引いた額。

※算定対象

区 分	一般会計等	公営企業会計	一部事務組合 広域連合	土地開発公社 第3セクター等
実質赤字比率	↔			
連結実質赤字比率	↔			
実質公債費比率	↔			
将来負担比率	↔			
資金不足比率	↔ 会計毎			